

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（外来）の基礎知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療保険制度、医療保険の給付、医療事務の仕事、カルテの上書き
	2	初診料、初診料レセプト記載法
	3	再診料、再診料レセプト記載法
	4	医学管理等、医学管理等レセプト記載法
	5	投薬料
	6	投薬料レセプト記載法
	7	注射料
	8	注射料レセプト記載法
	9	画像診断料
	10	画像診断料レセプト記載法
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎演習 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	3単位	
授業回数	30回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（外来レセプト）を作成するための総合演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から外来の明細書（レセプト）の作成ができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト項目別問題④
	5	レセプト項目別問題⑤
	6	レセプト項目別総合問題
	7	レセプト基礎問題①
	8	レセプトフォロー基礎問題①
	9	レセプト基礎問題②
	10	レセプトフォロー基礎問題②
	11	レセプト基礎問題③
	12	レセプトフォロー基礎問題③
	13	レセプト基礎問題④
	14	レセプトフォロー基礎問題④
	15	レセプト基礎問題⑤
	16	レセプトフォロー基礎問題⑤
	17	レセプト基礎総合問題
	18	レセプト応用問題①
	19	レセプトフォロー応用問題①
	20	レセプト応用問題②
	21	レセプトフォロー応用問題②
	22	レセプト応用問題③
	23	レセプトフォロー応用問題③
	24	レセプト応用問題④
	25	レセプトフォロー応用問題④
	26	レセプト応用問題⑤
	27	レセプトフォロー応用問題⑤
	28	レセプト応用総合問題
	29	レセプト最終確認直前問題①
	30	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	医療請求事務基礎Ⅰで学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（外来）の学科知識、レセプト知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	在宅医療、在宅医療レセプト記載法
	2	投薬料、処置料
	3	投薬料、処置料レセプト記載法
	4	手術料
	5	手術料レセプト記載法
	6	検体検査
	7	検体検査レセプト記載法
	8	病理診断・生体検査
	9	病理診断・生体検査、レセプト記載法
	10	リハビリテーション料、処方箋料、レセプト記載法
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	3単位	
授業回数	30回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（外来レセプト）を作成するための総合演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から外来の明細書（レセプト）の作成ができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト項目別問題④
	5	レセプト項目別問題⑤
	6	レセプト項目別総合問題
	7	レセプト基礎問題①
	8	レセプトフォロー基礎問題①
	9	レセプト基礎問題②
	10	レセプトフォロー基礎問題②
	11	レセプト基礎問題③
	12	レセプトフォロー基礎問題③
	13	レセプト基礎問題④
	14	レセプトフォロー基礎問題④
	15	レセプト基礎問題⑤
	16	レセプトフォロー基礎問題⑤
	17	レセプト基礎総合問題
	18	レセプト応用問題①
	19	レセプトフォロー応用問題①
	20	レセプト応用問題②
	21	レセプトフォロー応用問題②
	22	レセプト応用問題③
	23	レセプトフォロー応用問題③
	24	レセプト応用問題④
	25	レセプトフォロー応用問題④
	26	レセプト応用問題⑤
	27	レセプトフォロー応用問題⑤
	28	レセプト応用総合問題
	29	レセプト最終確認直前問題①
	30	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務応用 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（入院レセプト）を作成するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（入院）の応用知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	初・再診料等の復習
	2	入院料
	3	入院料レセプト記載法
	4	入院基本料等加算、入院時食事療養費
	5	入院基本料等加算、入院時食事療養費レセプト記載法
	6	投薬料、投薬料レセプト記載法
	7	注射料、注射料レセプト記載法
	8	レセプト総合演習①
	9	処置料①
	10	処置料②
	11	処置料レセプト記載法
	12	手術料①
	13	手術料②
	14	手術料レセプト記載法
	15	麻酔料、神経ブロック料
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	医療請求事務応用Ⅰで学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（入院）の学科知識、レセプト知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	麻酔料、神経ブロック料レセプト記載法
	2	検査料①
	3	検査料②
	4	検査料③
	5	検査料レセプト記載法
	6	画像診断料
	7	画像診断料レセプト記載法
	8	医学管理等
	9	医学管理等レセプト記載法
	10	リハビリテーション料、精神科専門療法料、放射線治療、処方箋料レセプト記載法
	11	公費負担医療制度
	12	投薬・注射料（学科対策）
	13	リハビリテーション料（学科対策）
	14	精神科専門療法料（学科対策）
	15	総合実技演習①（外来レセプト）
	16	処置料（学科対策）
	17	手術・麻酔料（学科対策）
	18	総合実技演習②（外来レセプト）
	19	放射線治療（学科対策）
	20	入院料等（学科対策）
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務応用演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	3単位	
授業回数	30回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（入院レセプト）を作成するための総合演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から入院の明細書（レセプト）の作成ができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト項目別問題④
	5	レセプト項目別問題⑤
	6	レセプト項目別問題⑥
	7	レセプト基礎問題①
	8	レセプト基礎問題②
	9	レセプト基礎問題③
	10	レセプト基礎問題④
	11	レセプト基礎問題⑤
	12	レセプト基礎問題⑥
	13	レセプト基礎問題⑦
	14	レセプト基礎問題⑧
	15	レセプト基礎問題⑨
	16	レセプト基礎問題⑩
	17	レセプト応用問題①
	18	レセプト応用問題②
	19	レセプト応用問題③
	20	レセプト応用問題④
	21	レセプト応用問題⑤
	22	レセプト応用問題⑥
	23	レセプト応用問題⑦
	24	レセプト応用問題⑧
	25	レセプト応用問題⑨
	26	レセプト応用問題⑩
	27	レセプト最終確認直前問題①
	28	レセプト最終確認直前問題②
	29	レセプト最終確認直前問題③
	30	レセプト最終確認直前問題④
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する	
教科書	医療秘書（株式会社メディカルエデュケーション）病院のマネジメント（建帛社）	
特記		
授業計画	1	日本の医療制度と特徴（医療秘書）
	2	病院の組織と運営（医療秘書）
	3	医療秘書の仕事と役割、求められる人物像（医療秘書）
	4	医療サービスと接遇（医療秘書）
	5	患者応対、敬語（医療秘書）
	6	ビジネス文書と文書作成（医療秘書）
	7	院外・院内文書の作成（医療秘書）
	8	病院の目的と機能（病院のマネジメント）
	9	診療部門（病院のマネジメント）
	10	看護部門（病院のマネジメント）
	11	副診療技術部門（病院のマネジメント）
	12	薬剤部門（病院のマネジメント）
	13	臨床試験センター（病院のマネジメント）
	14	人間関係のマネジメント（病院のマネジメント）
	15	事務部門（病院のマネジメント）
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	関連法規と基礎医学を理解するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	関連法規と基礎医学における基礎的な知識を理解する	
教科書	医療関連法規第2版（建帛社）DMT Disease & Medicinal therapy（株式会社 薬ゼミ情報教育センター）	
特記		
授業計画	1	健康保険法（関連法規）
	2	保険の種類（関連法規）
	3	療養の給付および入院食事療養費など（関連法規）
	4	保険給付（関連法規）
	5	日雇特例被保険者制度（関連法規）
	6	船員保険法（関連法規）
	7	各種共済組合法（関連法規）
	8	国民健康保険法（関連法規）
	9	高額療養費支給制度（関連法規）
	10	復習（関連法規）
	11	脳、眼科（基礎医学）
	12	神経系（基礎医学）
	13	耳鼻咽喉科、循環器科（基礎医学）
	14	循環器科、皮膚（基礎医学）
	15	復習（基礎医学）
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務基礎演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	15回	
授業概要	医療秘書実務基礎Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	医療秘書、関連法規、基礎医学の理解を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	基礎演習解説
	2	基礎演習①
	3	基礎演習②
	4	基礎演習③
	5	基礎演習④
	6	基礎演習⑤
	7	基礎演習復習
	8	直前演習解説
	9	直前演習①
	10	直前演習②
	11	直前演習③
	12	直前演習④
	13	直前演習⑤
	14	直前演習復習
	15	最終確認問題
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務応用 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療秘書における応用的な知識を理解する	
教科書	医療秘書(株式会社メディカルエデュケーション)改訂 医療関連法規(建帛社)	
特記		
授業計画	1	医療サービスと患者接遇
	2	ビジネス文書
	3	個人情報保護法・敬語
	4	医療保険制度
	5	医療施設関連法規
	6	医療従事者関係各法
	7	労災保険制度
	8	年金・自動車損害賠償責任保険法
	9	後期高齢者医療制度
	10	介護保険制度
	11	公費負担医療制度
	12	呼吸器系の仕組み
	13	骨格・筋系の仕組み
	14	代謝・内分泌系の仕組み
	15	体液・血液系の仕組み
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務応用演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	15回	
授業概要	医療秘書実務応用Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	患者接遇・関連法規・基礎医学の知識を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	基礎演習解説
	2	基礎演習①
	3	基礎演習②
	4	基礎演習③
	5	基礎演習④
	6	基礎演習⑤
	7	基礎演習復習
	8	直前演習解説
	9	直前演習①
	10	直前演習②
	11	直前演習③
	12	直前演習④
	13	直前演習⑤
	14	直前演習復習
	15	最終確認問題
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法（挨拶～初診受付）を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として初診の受付対応ができる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	社会人としてのマナー（言葉遣い、態度）
	2	社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト）
	3	社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀）
	4	社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ）
	5	立ち居振る舞い、聞く聴く
	6	初診受付の流れ
	7	初診受付基本対応
	8	確認テスト
	9	医療者としてのマナー（自然な声掛け、聴く姿勢）
	10	カルテの上書き
	11	初診受付の一連の流れ
	12	初診受付 実技演習①
	13	初診受付 実技演習②
	14	初診受付 効果測定①
	15	初診受付 効果測定②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法（会計、再診受付まで）を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として会計、最新の受付対応ができる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	身だしなみ（服装、髪型、メイク）、挨拶
	2	訊く、質問、メモの取り方①
	3	他己紹介、メモの取り方②
	4	指示アドバイスを受ける、報告・連絡・相談
	5	電話対応（内線）
	6	個人情報への配慮、守秘義務規定
	7	医療機関での個人情報にあたる書類の確認
	8	医療費の支払いに関する配慮、お釣りの計算
	9	会計受付
	10	確認テスト
	11	再診受付
	12	再診・会計実技演習①
	13	再診・会計実技演習②
	14	再診・会計効果測定①
	15	再診・会計効果測定②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己PR作成①
	5	自己PR作成②
	6	自己PR作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能検定に合格する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法（様々なタイプの患者対応）を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	贈答マナー（暑中見舞い、年賀状）
	2	名刺・物の受け渡し
	3	指示アドバイスを受ける、院内コミュニケーションの方法
	4	電話対応（外線）
	5	確認テスト
	6	患者気質別の対応方法
	7	患者家族への対応方法
	8	入院患者・外来患者・救急患者への対応、優先順位の付け方
	9	高齢者受給者証、後期高齢者医療、高齢者への対応
	10	小児医療証、小児（保護者）
	11	初診・再診①
	12	初診・再診②
	13	初診・再診③
	14	効果測定①
	15	効果測定②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	医療事務員として仕事をするための心構え・準備内容を理解する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として仕事をする意識付け及び自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療事務員としての心構え
	2	職業理解
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	自己PR作成①
	6	自己PR作成②
	7	作文・小論文①
	8	作文・小論文②
	9	病院研究①
	10	病院研究②
	11	質疑応答①
	12	質疑応答②
	13	自己表現演習①
	14	自己表現演習②
	15	自己表現演習③
	16	個別面接対策①
	17	個別面接対策②
	18	個別面接対策③
	19	個別面接対策④
	20	個別面接対策⑤
	21	個別面接対策⑥
	22	個別面接対策⑦
	23	個別面接対策⑧
	24	集団面接対策①
	25	集団面接対策②
	26	集団面接対策③
	27	集団面接対策④
	28	集団面接対策⑤
	29	集団面接対策⑥
	30	集団面接対策⑦
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
	31	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	関数を使用してのデータ集計①
	8	関数を使用してのデータ集計②
	9	関数を使用しての条件付き計算①
	10	関数を使用しての条件付き計算②
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②
	13	グラフの作成①
	14	グラフの作成②
	15	グラフの書式設定①
	16	グラフの書式設定②
	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	19	模擬テスト①
	20	模擬テスト②
	21	模擬テスト③
	22	模擬テスト④
	23	模擬テスト⑤
	24	模擬テスト⑥
	25	模擬テスト⑦
	26	模擬テスト⑧
	27	模擬テスト⑨
	28	模擬テスト⑩
	29	模擬テスト⑪
	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医師事務作業補助 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	医療保険制度及び医療関連法規について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医師事務作業補助者として必要となる知識を修得	
教科書	メディカルドクターズクラーク講座 テキスト1～5（ニチイ）	
特記		
授業計画	1	我が国の社会保障制度の概要／健康保険の制度①
	2	健康保険の制度②
	3	健康保険の制度③
	4	健康保険の制度④
	5	国民健康保険の制度
	6	保険医療機関及び保健医療養担当規則①
	7	保険医療機関及び保健医療養担当規則②
	8	その他の法規など
	9	医療・衛生法規の制定目的と分類／医務①
	10	医務②
	11	医務③
	12	公衆衛生
	13	社会福祉関連法規①
	14	社会福祉関連法規②
	15	社会福祉関連法規③
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医師事務作業補助Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	医学・薬学に関連する知識及び医師事務作業補助業務や各種医療文書等について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医師事務作業補助者として必要となる知識を修得	
教科書	メディカルドクターズクラーク講座 テキスト1～5（ニチイ）	
特記		
授業計画	1	人体の構成／診断と治療
	2	薬品に関する公定書と法律
	3	薬の名称および種類／医薬品と処方
	4	神経系の構造・生理および疾患例／神経系に作用する薬物
	5	循環器系・呼吸器系の構造・生理および疾患例・作用する薬物
	6	消化器系・血液系の構造・生理および疾患例・作用する薬物
	7	腎・泌尿器系・内分泌系の構造・生理および疾患例・作用する薬物
	8	アレルギー・免疫系の生理および疾患例／抗アレルギー薬
	9	感覚器の構造・生理および疾患例／皮膚および眼に作用する薬物
	10	骨・筋系の構造・生理および疾患例・代謝のしくみおよび疾患例
	11	医師事務作業補助業務について
	12	医療機関における安全管理
	13	診断書・証明書／傷病手当金支給申請書
	14	死亡診断書・死体検案書／処方箋
	15	診療情報提供書／医療要否意見書等
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医師事務作業補助演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	診断書や各種証明書、請求書を作成するための基礎を身に付ける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	医師事務作業補助者として必要となる知識を修得	
教科書	医師事務作業補助技能認定試験受験のための技能認定試験問題集（一般社団法人日本医療教育財団）	
特記		
授業計画	1	【学科演習】 医療保険制度・医療関連法規・医学一般・薬学一般
	2	【学科演習】 医師事務作業補助業務・診療録の記載・電子カルテ・個人情報保護
	3	【学科演習】 医療関連法規における安全管理・診断書・証明書・請求書
	4	【実技演習】 傷病手当金支給申請書・死亡診断書・死体検案書・処方箋
	5	【実技演習】 診療情報提供書・医療要否意見書（生活保護）・その他証明書
	6	【総合演習】 模擬試験問題①
	7	【総合演習】 模擬試験問題②
	8	【総合演習】 模擬試験問題③
	9	【総合演習】 模擬試験問題④
	10	【総合演習】 模擬試験問題⑤
	11	【総合演習】 模擬試験問題⑥
	12	【総合演習】 模擬試験問題⑦
	13	【総合演習】 模擬試験問題⑧
	14	【総合演習】 模擬試験問題⑨
	15	【総合演習】 模擬試験問題⑩
	16	【総合演習】 模擬試験問題⑪
	17	【総合演習】 模擬試験問題⑫
	18	【総合演習】 模擬試験問題⑬
	19	【総合演習】 模擬試験問題⑭
	20	【総合演習】 模擬試験問題⑮
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自己分析を行い、自らの長所、短所を明確にし、表現する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自分の長所、短所を理解したうえで、自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析見直し①
	2	自己分析見直し②
	3	自己分析見直し③
	4	自己分析見直し④
	5	自己分析見直し⑤
	6	自己PR作成①
	7	自己PR作成②
	8	自己PR作成③
	9	自己PR作成④
	10	自己PR作成⑤
	11	自己表現演習①
	12	自己表現演習②
	13	自己表現演習③
	14	自己表現演習④
	15	自己表現演習⑤
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	患者接遇論 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	患者接遇に必要な知識を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	実習前に患者接遇に必要な知識を学習し、対応できるようにする	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	実習生の心構えとマナー
	2	病院業務と実習日誌
	3	聞く姿勢と言葉遣い
	4	質問・メモの取り方
	5	自分からの行動
	6	指示・アドバイスを受ける
	7	トラブル対応
	8	受付対応
	9	医事コンピューターの使い方
	10	電話対応
	11	病院研究
	12	病院見学
	13	病院での一日の流れ
	14	実習先の電話連絡
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習 I
実務家教員	○
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	保険医療機関等で医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	保険医療機関内での医療事務の役割を理解する
教科書	病院実習報告書
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員
授業計画	1 現場実習 I（院内オリエンテーション）①
	2 現場実習 I（院内オリエンテーション）②
	3 現場実習 I（病院概要）①
	4 現場実習 I（病院概要）②
	5 現場実習 I（病院概要）③
	6 現場実習 I（病院概要）④
	7 現場実習 I（カルテ管理）①
	8 現場実習 I（カルテ管理）②
	9 現場実習 I（カルテ管理）③
	10 現場実習 I（カルテ管理）④
	11 現場実習 I（カルテ管理）⑤
	12 現場実習 I（カルテ管理）⑥
	13 現場実習 I（カルテ管理）⑦
	14 現場実習 I（カルテ管理）⑧
	15 現場実習 I（医事課業務）①
	16 現場実習 I（医事課業務）②
	17 現場実習 I（医事課業務）③
	18 現場実習 I（医事課業務）④
	19 現場実習 I（医事課業務）⑤
	20 現場実習 I（医事課業務）⑥
	21 現場実習 I（医事課業務）⑦
	22 現場実習 I（医事課業務）⑧
	23 現場実習 I（外来クラーク）①
	24 現場実習 I（外来クラーク）②
	25 現場実習 I（外来クラーク）③
	26 現場実習 I（外来クラーク）④
	27 現場実習 I（外来クラーク）⑤
	28 現場実習 I（外来クラーク）⑥
	29 現場実習 I（外来クラーク）⑦
	30 現場実習 I（外来クラーク）⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院研究	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	病院就職に必要な知識やスキルを身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	病院の研究を行い自身の強みと照らし合わせ、それを表現することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	病院研究の流れ
	2	病院の理念、概要
	3	施設基準について
	4	病院見学①
	5	病院見学②
	6	病院見学③
	7	病院見学④
	8	病院見学⑤
	9	病院見学⑥
	10	病院見学⑦
	11	病院見学⑧
	12	病院研究レポート①
	13	病院研究レポート②
	14	病院研究レポート③
	15	病院研究レポート④
	16	病院研究レポート⑤
	17	病院研究レポート⑥
	18	病院研究レポート⑦
	19	病院研究レポート⑧
	20	業界研究①
	21	業界研究②
	22	業界研究③
	23	業界研究④
	24	業界研究⑤
	25	業界研究⑥
	26	説明会・セミナー
	27	説明会・セミナー
	28	説明会・セミナー
	29	説明会・セミナー
	30	説明会・セミナー
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	手話演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	実技演習を通し、基礎的な手話を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	患者対応における手話の基礎を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	挨拶①
	2	挨拶②
	3	50音（指文字）
	4	氏名
	5	数字、時制
	6	家族、趣味
	7	出身地、住所
	8	交通手段
	9	自己紹介①
	10	自己紹介②
	11	コミュニケーションの取り方（質問方法）
	12	医療に関わる単語
	13	受付対応①
	14	受付対応②
	15	障害の理解
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書作成	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	文字入力の基礎 1
	2	文字入力の基礎 2
	3	ビジネス文書作成 1（案内文）
	4	ビジネス文書作成 2（案内文）
	5	ビジネス文書作成 3（送付状）
	6	ビジネス文書作成 4（送付状）
	7	ビジネス文書作成 5（社内文書）
	8	ビジネス文書作成 6（社内文書）
	9	ビジネス文書作成 7（表作成）
	10	ビジネス文書作成 8（表作成）
	11	ビジネス文書作成 9（表作成）
	12	ビジネス文書作成 10（文章と表の組み合わせ）
	13	ビジネス文書作成 11（文章と表の組み合わせ）
	14	ビジネス文書作成 12（メール文章・メールの設定）
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	I T リテラシ			
実務家教員				
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	45回			
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31	直前答案練習①
	2	コンピュータシステムの構成②	32	直前答案練習②
	3	コンピュータシステムの構成③	33	直前答案練習③
	4	ネットワークテクノロジー①	34	直前答案練習④
	5	ネットワークテクノロジー②	35	直前答案練習⑤
	6	ネットワークテクノロジー③	36	直前答案練習⑥
	7	ネットワークテクノロジー④	37	直前答案練習⑦
	8	ネットワークの構築と運用①	38	直前答案練習⑧
	9	ネットワークの構築と運用②	39	直前答案練習⑨
	10	ネットワークの構築と運用③	40	直前答案練習⑩
	11	ネットワークの構築と運用④	41	直前答案練習⑪
	12	情報セキュリティ①	42	直前答案練習⑫
	13	情報セキュリティ②	43	直前答案練習⑬
	14	情報セキュリティ③	44	直前答案練習⑭
	15	情報セキュリティ④	45	直前答案練習⑮
	16	情報セキュリティ⑤		
	17	項目別問題演習①		
	18	項目別問題演習②		
	19	項目別問題演習③		
	20	項目別問題演習④		
	21	項目別問題演習⑤		
	22	項目別問題演習⑥		
	23	項目別問題演習⑦		
	24	項目別問題演習⑧		
	25	項目別問題演習⑨		
	26	項目別問題演習⑩		
	27	項目別問題演習⑪		
	28	項目別問題演習⑫		
	29	項目別問題演習⑬		
	30	項目別問題演習⑭		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い
	2	職場のマナー
	3	仕事の進め方
	4	報告、連絡、相談
	5	挨拶
	6	笑顔、お辞儀
	7	敬語①
	8	敬語②
	9	対応の基本①
	10	対応の基本②
	11	電話対応①
	12	電話対応②
	13	電話対応③
	14	電話対応④
	15	電話対応⑤
	16	効果測定①
	17	効果測定②
	18	接遇マナー①
	19	接遇マナー②
	20	接遇マナー③
	21	接客マナー①
	22	接客マナー②
	23	営業マナー①
	24	営業マナー②
	25	商品説明①
	26	商品説明②
	27	クレーム対応
	28	社会人マナー①
	29	社会人マナー②
	30	社会人マナー③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技・筆記による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	時短に効くショートカットキー
	2	入力の時短①
	3	入力の時短②
	4	入力の時短③
	5	入力の時短④
	6	二度手間を防ぐ①
	7	二度手間を防ぐ②
	8	二度手間を防ぐ③
	9	集計作業効率化①
	10	集計作業効率化②
	11	集計作業効率化③
	12	関数による計算・判定①
	13	関数による計算・判定②
	14	実例演習
	15	確認テスト
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	医事課や総合受付内等の内部業務知識やマナーを身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	実習を踏まえ、医療人としてのマナー、知識を身に付け行動できる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）、オリジナルテキスト配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	基本的マナーの復習①
	2	基本的マナーの復習②
	3	聞くから聴くへ（上司との会話、同僚との会話）①
	4	聞くから聴くへ（上司との会話、同僚との会話）②
	5	ハウレンソウ・情報収集①
	6	ハウレンソウ・情報収集②
	7	電話応対①（内線）※電話をかける
	8	電話応対②（外線）※電話をかける
	9	実習初日の挨拶、確認事項①
	10	実習初日の挨拶、確認事項②
	11	実技テスト（初日の挨拶）①
	12	実技テスト（初日の挨拶）②
	13	効果測定①
	14	効果測定②
	15	効果測定③
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。	
教科書	オリジナルテキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓演習1
	2	電卓演習2
	3	電卓演習3
	4	電卓演習4
	5	電卓演習5
	6	電卓演習6
	7	電卓演習7
	8	電卓演習8
	9	電卓演習9
	10	電卓演習10
	11	電卓演習11
	12	電卓演習12
	13	電卓演習13
	14	電卓演習14
	15	電卓演習15
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会人マナー
	2	冠婚葬祭マナー
	3	贈答マナー
	4	会食マナー
	5	時事研究・グループ討議①
	6	時事研究・グループ討議②
	7	時事研究・グループ討議③
	8	時事研究・グループ討議④
	9	時事研究・グループ討議⑤
	10	時事研究・グループ討議⑥
	11	時事研究・グループ討議⑦
	12	時事研究・グループ討議⑧
	13	時事研究・グループ討議⑨
	14	発表①
	15	発表②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	質疑応答作成①
	2	質疑応答作成②
	3	質疑応答作成③
	4	質疑応答作成④
	5	質疑応答作成⑤
	6	質疑応答作成⑥
	7	質疑応答作成⑦
	8	質疑応答作成⑧
	9	質疑応答作成⑨
	10	質疑応答作成⑩
	11	質疑応答作成⑪
	12	質疑応答作成⑫
	13	質疑応答作成⑬
	14	質疑応答作成⑭
	15	質疑応答作成⑮
	16	自己表現演習①
	17	自己表現演習②
	18	自己表現演習③
	19	自己表現演習④
	20	自己表現演習⑤
	21	自己表現演習⑥
	22	自己表現演習⑦
	23	自己表現演習⑧
	24	自己表現演習⑨
	25	自己表現演習⑩
	26	自己表現演習⑪
	27	自己表現演習⑫
	28	自己表現演習⑬
	29	自己表現演習⑭
	30	自己表現演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	接遇論マナー実践	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	実習前に患者接遇の知識とスキルを身に付け、スムーズに対応できるようにする	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	実習生の心構えとマナー
	2	病院業務
	3	実習日誌
	4	言葉遣い/質問/メモの取り方
	5	自分からの行動
	6	指示を受ける
	7	アドバイスを受ける
	8	トラブル対応
	9	受付対応
	10	医事コンピューターの使い方
	11	電話対応
	12	病院研究
	13	病院見学
	14	病院での一日の流れ
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	大学病院や総合病院等で医療事務員として必要な行動を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	大規模病院内での医療事務員の役割を理解し、業務を遂行する
教科書	病院実習報告書
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員
授業計画	1 現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）①
	2 現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）②
	3 現場実習Ⅱ（初診受付）①
	4 現場実習Ⅱ（初診受付）②
	5 現場実習Ⅱ（初診受付）③
	6 現場実習Ⅱ（初診受付）④
	7 現場実習Ⅱ（初診受付）⑤
	8 現場実習Ⅱ（再診受付）①
	9 現場実習Ⅱ（再診受付）②
	10 現場実習Ⅱ（再診受付）③
	11 現場実習Ⅱ（再診受付）④
	12 現場実習Ⅱ（再診受付）⑤
	13 現場実習Ⅱ（入退院受付）①
	14 現場実習Ⅱ（入退院受付）②
	15 現場実習Ⅱ（入退院受付）③
	16 現場実習Ⅱ（入退院受付）④
	17 現場実習Ⅱ（入退院受付）⑤
	18 現場実習Ⅱ（医事課業務）①
	19 現場実習Ⅱ（医事課業務）②
	20 現場実習Ⅱ（医事課業務）③
	21 現場実習Ⅱ（医事課業務）④
	22 現場実習Ⅱ（医事課業務）⑤
	23 現場実習Ⅱ（医事課業務）⑥
	24 現場実習Ⅱ（医事課業務）⑦
	25 現場実習Ⅱ（医事課業務）⑧
	26 現場実習Ⅱ（診療報酬請求、医事コンピュータ）①
	27 現場実習Ⅱ（診療報酬請求、医事コンピュータ）②
	28 現場実習Ⅱ（診療報酬請求、医事コンピュータ）③
	29 現場実習Ⅱ（診療報酬請求、医事コンピュータ）④
	30 現場実習Ⅱ（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	大学病院や総合病院で医療事務員として必要な行動、態度、技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	大規模病院内での医療事務員の業務内容を理解し、自ら行動する
教科書	病院実習報告書
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員
授業計画	1 現場実習Ⅲ（初・再診受付）①
	2 現場実習Ⅲ（初・再診受付）②
	3 現場実習Ⅲ（初・再診受付）③
	4 現場実習Ⅲ（初・再診受付）④
	5 現場実習Ⅲ（初・再診受付）⑤
	6 現場実習Ⅲ（医事課業務）①
	7 現場実習Ⅲ（医事課業務）②
	8 現場実習Ⅲ（医事課業務）③
	9 現場実習Ⅲ（医事課業務）④
	10 現場実習Ⅲ（医事課業務）⑤
	11 現場実習Ⅲ（外来クラーク）①
	12 現場実習Ⅲ（外来クラーク）②
	13 現場実習Ⅲ（外来クラーク）③
	14 現場実習Ⅲ（外来クラーク）④
	15 現場実習Ⅲ（外来クラーク）⑤
	16 現場実習Ⅲ（外来クラーク）⑥
	17 現場実習Ⅲ（外来クラーク）⑦
	18 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）①
	19 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）②
	20 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）③
	21 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）④
	22 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）⑤
	23 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）⑥
	24 現場実習Ⅲ（病棟クラーク）⑦
	25 現場実習Ⅲ（看護助手）①
	26 現場実習Ⅲ（看護助手）②
	27 現場実習Ⅲ（看護助手）③
	28 現場実習Ⅲ（看護助手）④
	29 現場実習Ⅲ（看護助手）⑤
	30 現場実習Ⅲ（看護助手）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践V	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法（特殊保険や問い合わせ）を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として応用的な受付対応ができる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）、オリジナルテキスト配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	受付対応の復習①
	2	受付対応の復習②
	3	外国人対応①
	4	外国人対応②
	5	特殊保険（更生医療）①
	6	特殊保険（更生医療）②
	7	特殊保険（更生医療）③
	8	特殊保険（更生医療）④
	9	特殊保険（自賠責）①
	10	特殊保険（自賠責）②
	11	特殊保険（労災）①
	12	特殊保険（労災）②
	13	効果測定①
	14	効果測定②
	15	効果測定③
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療ビジネスマナーⅡ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ロールプレイを行いながら実践的な知識を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療現場における実践的な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い①
	2	学校と職場の違い②
	3	学校と職場の違い③
	4	職場のマナー①
	5	職場のマナー②
	6	職場のマナー③
	7	仕事の進め方①
	8	仕事の進め方②
	9	仕事の進め方③
	10	報告、連絡、相談①
	11	報告、連絡、相談②
	12	報告、連絡、相談③
	13	挨拶①
	14	挨拶②
	15	基本的な受付対応
	16	保険の種類別対応
	17	受付対応の実践例
	18	効果測定（受付対応の基本）
	19	クレームとは
	20	クレーム対応の方法
	21	病院内におけるクレーム対応・クレーム対応の例
	22	待ち時間・説明不足に関するクレーム対応
	23	診療時間に関するクレーム対応・クレーム対応練習
	24	受付対応実技応用 レクチャー①
	25	受付対応実技応用 レクチャー②
	26	受付対応実技応用 実践練習①
	27	受付対応実技応用 実践練習②
	28	効果測定（受付対応実技応用）
	29	効果測定（受付対応実技応用）
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	請求事務実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な知識の向上	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別問題（初診・再診）
	2	個別問題（入院・食事）
	3	個別問題（医学管理・投薬）
	4	個別問題（注射・処置）
	5	個別問題（手術・麻酔）
	6	個別問題（検査・画像）
	7	レセプト演習 外来①
	8	レセプト演習 入院①
	9	レセプト演習 外来②
	10	レセプト演習 入院②
	11	レセプト演習 外来③
	12	レセプト演習 入院③
	13	レセプト演習 外来④
	14	レセプト演習 入院④
	15	効果測定（外来・入院）
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	調剤報酬請求事務	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	処方箋から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	調剤報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	調剤基本料①
	2	調剤基本料②
	3	レセプト記載方法①
	4	調剤料①
	5	調剤料②
	6	調剤料③
	7	レセプト記載方法②
	8	総合問題演習①
	9	薬剤料の計算方法（内服薬）①
	10	薬剤料の計算方法（内服薬）②
	11	レセプト記載方法③
	12	総合問題演習②
	13	薬剤料の計算方法（頓服薬）①
	14	薬剤料の計算方法（頓服薬）②
	15	レセプト記載方法②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員				
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	5単位			
授業回数	60回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	FP3級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	リスク管理①	41	不動産①
	12	リスク管理②	42	不動産②
	13	リスク管理③	43	不動産③
	14	リスク管理④	44	不動産④
	15	リスク管理⑤	45	不動産⑤
	16	リスク管理⑥	46	不動産⑥
	17	リスク管理⑦	47	不動産⑦
	18	リスク管理⑧	48	不動産⑧
	19	リスク管理⑨	49	不動産⑨
	20	リスク管理⑩	50	不動産⑩
	21	金融資産運用①	51	相続・事業承継①
	22	金融資産運用②	52	相続・事業承継②
	23	金融資産運用③	53	相続・事業承継③
	24	金融資産運用④	54	相続・事業承継④
	25	金融資産運用⑤	55	相続・事業承継⑤
	26	金融資産運用⑥	56	相続・事業承継⑥
	27	金融資産運用⑦	57	相続・事業承継⑦
	28	金融資産運用⑧	58	相続・事業承継⑧
	29	金融資産運用⑨	59	相続・事業承継⑨
	30	金融資産運用⑩	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	FP応用	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	3単位	
授業回数	30回	
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る	
達成目標	問題演習によりFP3級の基礎知識を定着させる	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③
	4	リスク管理問題演習①
	5	リスク管理問題演習②
	6	リスク管理問題演習③
	7	金融資産運用問題演習①
	8	金融資産運用問題演習②
	9	金融資産運用問題演習③
	10	金融資産運用問題演習④
	11	タックスプランニング問題演習①
	12	タックスプランニング問題演習②
	13	タックスプランニング問題演習③
	14	タックスプランニング問題演習④
	15	タックスプランニング問題演習⑤
	16	タックスプランニング問題演習⑥
	17	不動産問題演習①
	18	不動産問題演習②
	19	不動産問題演習③
	20	不動産問題演習④
	21	不動産問題演習⑤
	22	不動産問題演習⑥
	23	相続・事業承継問題演習①
	24	相続・事業承継問題演習②
	25	相続・事業承継問題演習③
	26	相続・事業承継問題演習④
	27	相続・事業承継問題演習⑤
	28	相続・事業承継問題演習⑥
	29	総復習
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP総合			
実務家教員				
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	45回			
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	FP3級に合格できるレベルの知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	総合演習（ケーススタディ）①	31	直前答案練習①
	2	総合演習（ケーススタディ）②	32	直前答案練習②
	3	総合演習（ケーススタディ）③	33	直前答案練習③
	4	総合演習（ケーススタディ）④	34	直前答案練習④
	5	総合演習（ケーススタディ）⑤	35	直前答案練習⑤
	6	総合演習（ケーススタディ）⑥	36	直前答案練習⑥
	7	総合演習（ケーススタディ）⑦	37	直前答案練習⑦
	8	総合演習（ケーススタディ）⑧	38	直前答案練習⑧
	9	総合演習（ケーススタディ）⑨	39	直前答案練習⑨
	10	総合演習（ケーススタディ）⑩	40	直前答案練習⑩
	11	過去問研究①	41	直前答案練習⑪
	12	過去問研究②	42	直前答案練習⑫
	13	過去問研究③	43	直前答案練習⑬
	14	過去問研究④	44	直前答案練習⑭
	15	過去問研究⑤	45	直前答案練習⑮
	16	過去問研究⑥		
	17	過去問研究⑦		
	18	過去問研究⑧		
	19	過去問研究⑨		
	20	過去問研究⑩		
	21	過去問研究⑪		
	22	過去問研究⑫		
	23	過去問研究⑬		
	24	過去問研究⑭		
	25	過去問研究⑮		
	26	過去問研究⑯		
	27	過去問研究⑰		
	28	過去問研究⑱		
	29	過去問研究⑲		
	30	過去問研究⑳		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用用を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	関数を使用してのデータ集計①
	8	関数を使用してのデータ集計②
	9	関数を使用しての条件付き計算①
	10	関数を使用しての条件付き計算②
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②
	13	グラフの作成①
	14	グラフの作成②
	15	グラフの書式設定①
	16	グラフの書式設定②
	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	19	模擬テスト①
	20	模擬テスト②
	21	模擬テスト③
	22	模擬テスト④
	23	模擬テスト⑤
	24	模擬テスト⑥
	25	模擬テスト⑦
	26	模擬テスト⑧
	27	模擬テスト⑨
	28	模擬テスト⑩
	29	模擬テスト⑪
	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel応用	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理
	2	セルやセル範囲のデータの管理
	3	テーブルの作成①
	4	テーブルの作成②
	5	関数を使用してのデータ集計①
	6	関数を使用してのデータ集計②
	7	関数を使用しての条件付き計算①
	8	関数を使用しての条件付き計算②
	9	関数を使用しての条件付き計算③
	10	関数を使用した文字列の整形や変更①
	11	関数を使用した文字列の整形や変更②
	12	グラフの作成①
	13	グラフの作成②
	14	グラフの書式設定
	15	オブジェクトの挿入や書式設定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記入門 I
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	1単位
授業回数	15回
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的（基礎編）
	2 簿記一巡 I（基礎編）
	3 簿記一巡 II（基礎編）
	4 商品売買（基礎編）
	5 決算整理 I（基礎編）
	6 精算表（基礎編）
	7 現金および預金（基礎編）
	8 手形（基礎編）
	9 決算整理 II（基礎編）
	10 その他の債権および債務（基礎編 9
	11 有形固定資産（基礎編）
	12 決算整理 III（基礎編）
	13 決算整理 IV（基礎編）
	14 株式会社の純資産（基礎編）
	15 英米式決算法（基礎編）
	16
	17
	18
	19
	20
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級商業簿記基礎			
実務家教員				
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の目的	31	商業簿記総まとめ③
	2	簿記一巡①	32	商業簿記総まとめ④
	3	簿記一巡②	33	商業簿記総まとめ⑤
	4	商品売買①	34	商業簿記総まとめ⑥
	5	商品売買②	35	損益計算書および貸借対照表①
	6	現金および預金①	36	損益計算書および貸借対照表②
	7	現金および預金②	37	損益計算書および貸借対照表③
	8	手形	38	主要簿と補助簿①
	9	有形固定資産	39	主要簿と補助簿②
	10	その他の債権および債務①	40	主要簿と補助簿③
	11	その他の債権および債務②	41	主要簿と補助簿④
	12	税金	42	主要簿と補助簿⑤
	13	その他の勘定および訂正仕訳	43	主要簿と補助簿⑥
	14	株式会社の資本	44	伝票①
	15	確認テスト（第1回）	45	伝票②
	16	決算①（繰越商品および仕入の決算整理）		
	17	決算②（決算整理後残高試算表）		
	18	決算③（精算表）		
	19	決算④（有形固定資産の決算整理）		
	20	決算⑤（有形固定資産の決算整理）		
	21	決算⑥（有形固定資産の決算整理）		
	22	決算⑦（受取手形および売掛金の決算整理）		
	23	決算⑧（費用および収益の決算整理）		
	24	決算⑨（費用および収益の決算整理）		
	25	決算⑩（その他の決算整理）		
	26	決算⑪（その他の決算整理）		
	27	決算⑫（その他の決算整理）		
	28	確認テスト（第2回）		
	29	商業簿記総まとめ①		
	30	商業簿記総まとめ②		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級簿記総合			
実務家教員				
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題対策④
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題対策⑤
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題対策⑥
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題対策⑦
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題対策⑧
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題対策⑨
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題対策⑩
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題対策⑪
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題対策⑫
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題対策⑬
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題対策⑭
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題対策⑮
	16	商業簿記総まとめ①（応用編）	46	総合問題対策⑮
	17	商業簿記総まとめ②（応用編）	47	総合問題対策⑮
	18	商業簿記総まとめ③（応用編）	48	総合問題対策⑮
	19	商業簿記総まとめ④（応用編）	49	総合問題対策⑮
	20	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	50	総合問題対策⑮
	21	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	51	総合問題対策⑮
	22	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	52	総合問題対策⑮
	23	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	53	総合問題対策⑮
	24	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	54	総合問題対策⑮
	25	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	55	総合問題対策⑮
	26	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	56	総合問題対策⑮
	27	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	57	総合問題対策⑮
	28	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	58	総合問題対策⑮
	29	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	59	総合問題対策⑮
	30	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	60	総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする			

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己表現演習①
	2	自己表現演習②
	3	自己表現演習③
	4	自己表現演習④
	5	自己表現演習⑤
	6	自己表現演習⑥
	7	自己表現演習⑦
	8	自己表現演習⑧
	9	自己表現演習⑨
	10	自己表現演習⑩
	11	業界研究、業種研究①
	12	業界研究、業種研究②
	13	業界研究、業種研究③
	14	業界研究、業種研究④
	15	業界研究、業種研究⑤
	16	業界研究、業種研究⑥
	17	業界研究、業種研究⑦
	18	業界研究、業種研究⑧
	19	業界研究、業種研究⑨
	20	業界研究、業種研究⑩
	21	質疑応答①
	22	質疑応答②
	23	質疑応答③
	24	質疑応答④
	25	質疑応答⑤
	26	質疑応答⑥
	27	質疑応答⑦
	28	質疑応答⑧
	29	質疑応答⑨
	30	質疑応答⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振り返り
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	マーケティングと顧客満足
	2	マーケティング分析方法①
	3	マーケティング分析方法②
	4	マーケティングと財務知識①
	5	マーケティングと財務知識②
	6	マーケティングと財務知識③
	7	マーケティングと財務知識④
	8	マーケティング手法①
	9	マーケティング手法②
	10	確認テスト
	11	事例から学ぶマーケティング①
	12	事例から学ぶマーケティング②
	13	事例から学ぶマーケティング③
	14	事例から学ぶマーケティング④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤
	16	事例から学ぶマーケティング⑥
	17	事例から学ぶマーケティング⑦
	18	事例から学ぶマーケティング⑧
	19	事例から学ぶマーケティング⑨
	20	事例から学ぶマーケティング⑩
	21	マーケティング演習①
	22	マーケティング演習②
	23	マーケティング演習③
	24	マーケティング演習④
	25	マーケティング演習⑤
	26	マーケティング演習⑥
	27	マーケティング演習⑦
	28	マーケティング演習⑧
	29	マーケティング演習⑨
	30	マーケティング演習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療ボランティア実践 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの活動を通し、患者対応スキルを向上させる	
授業の進め方	病院や施設などの外部施設でボランティアを行う	
達成目標	病院や施設での患者対応がスムーズにできる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	病院ボランティア1
	2	病院ボランティア2
	3	病院ボランティア3
	4	病院ボランティア4
	5	病院ボランティア5
	6	病院ボランティア6
	7	病院ボランティア7
	8	病院ボランティア8
	9	病院ボランティア9
	10	病院ボランティア10
	11	病院ボランティア11
	12	病院ボランティア12
	13	病院ボランティア13
	14	病院ボランティア14
	15	病院ボランティア15
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療ボランティア実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ボランティアの活動を通し、患者対応スキル、コミュニケーションスキルを向上させる	
授業の進め方	病院や施設などの外部施設でボランティアを行う	
達成目標	病院や施設での様々なタイプの患者対応がスムーズにできる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	病院ボランティア16
	2	病院ボランティア17
	3	病院ボランティア18
	4	病院ボランティア19
	5	病院ボランティア20
	6	病院ボランティア21
	7	病院ボランティア22
	8	病院ボランティア23
	9	病院ボランティア24
	10	病院ボランティア25
	11	病院ボランティア26
	12	病院ボランティア27
	13	病院ボランティア28
	14	病院ボランティア29
	15	病院ボランティア30
	16	病院ボランティア31
	17	病院ボランティア32
	18	病院ボランティア33
	19	病院ボランティア34
	20	病院ボランティア35
	21	病院ボランティア36
	22	病院ボランティア37
	23	病院ボランティア38
	24	病院ボランティア39
	25	病院ボランティア40
	26	病院ボランティア41
	27	病院ボランティア42
	28	病院ボランティア43
	29	病院ボランティア44
	30	病院ボランティア45
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療ボランティア概論
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	1単位
授業回数	15回
授業概要	ボランティアを行う上での知識を習得する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	ボランティアを行う上での心構えを習得し、ボランティアに行く準備ができる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 ボランティア活動の高まりの背景
	2 ボランティアの心構え①
	3 ボランティアの心構え②
	4 ボランティアを行うメリット
	5 病院ボランティアについて①
	6 病院ボランティアについて②
	7 ボランティア先選出①
	8 ボランティア先選出②
	9 希望ボランティア先への連絡レクチャー①
	10 希望ボランティア先への連絡レクチャー②
	11 希望ボランティア先への連絡①
	12 希望ボランティア先への連絡②
	13 ボランティア先決定後の準備①
	14 ボランティア先決定後の準備②
	15 ボランティア先決定後の準備③
	16
	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療ビジネスマナー I
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
単位数	3単位
授業回数	30回
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に付けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 職場のマナー
	2 仕事の進め方／ほうれんそうとは
	3 挨拶の種類／状況に応じた挨拶
	4 笑顔とお辞儀
	5 正しい敬語の使い方
	6 間違いやすい敬語表現／クッション言葉
	7 状況に応じた言葉遣い
	8 来客対応
	9 名刺交換の基本
	10 名刺交換の応用
	11 電話対応のマナー
	12 電話の受け方①
	13 電話の受け方②
	14 電話のかけ方①
	15 電話のかけ方②
	16 状況別の対応方法①
	17 状況別の対応方法②
	18 伝言の復唱
	19 道案内
	20 電話対応演習①
	21 電話対応演習②
	22 電話対応演習③
	23 電話対応演習④
	24 電話対応演習⑤
	25 電話対応演習⑥
	26 電話対応演習⑦
	27 電話対応演習⑧
	28 電話対応演習⑨
	29 電話対応演習⑩
	30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	請求事務実践 I	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	外来レセプト復習1
	2	外来レセプト復習2
	3	外来レセプト復習3
	4	外来レセプト復習4
	5	外来レセプト復習5
	6	入院レセプト復習1
	7	入院レセプト復習2
	8	入院レセプト復習3
	9	入院レセプト復習4
	10	入院レセプト復習5
	11	入院レセプト復習6
	12	入院レセプト復習7
	13	公費負担医療とは
	14	公費（生活保護）
	15	公費（障害者総合支援法）
	16	公費（結核医療）
	17	公費（難病医療費助成制度）
	18	公費負担医療演習1
	19	公費負担医療演習2
	20	公費負担医療演習3
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会保険基礎論	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	保険の基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療現場における様々な保険知識の理解をする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療保険について①
	2	医療保険について②
	3	後期高齢者医療制度①
	4	後期高齢者医療制度②
	5	公費①
	6	公費②
	7	介護保険①
	8	介護保険②
	9	自動車損害賠償保障法①
	10	自動車損害賠償保障法②
	11	労働者災害補償保険法①
	12	労働者災害補償保険法②
	13	レセプト点検・総括①
	14	レセプト点検・総括②
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医学知識	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	病院受付でも患者対応できるように医学的な基礎的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医学の基礎を理解する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	生活習慣病・脂質異常症
	2	高血圧症
	3	動脈硬化症
	4	狭心症・心筋梗塞
	5	脳梗塞・脳出血
	6	クモ膜下出血・感冒症候群
	7	扁桃炎
	8	肺炎・気管支炎
	9	胃炎
	10	胃・十二指腸潰瘍
	11	胃癌
	12	肝炎
	13	肝硬変・肝癌
	14	胆石症・膵炎
	15	効果測定
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、業務内容を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	他職種の業務を理解し、自らの業務を遂行する
教科書	病院実習報告書
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員
授業計画	1 現場実習Ⅳ（初・再診受付）①
	2 現場実習Ⅳ（初・再診受付）②
	3 現場実習Ⅳ（初・再診受付）③
	4 現場実習Ⅳ（初・再診受付）④
	5 現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑤
	6 現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑥
	7 現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑦
	8 現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑧
	9 現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑨
	10 現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑩
	11 現場実習Ⅳ（外来クラーク）①
	12 現場実習Ⅳ（外来クラーク）②
	13 現場実習Ⅳ（外来クラーク）③
	14 現場実習Ⅳ（外来クラーク）④
	15 現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑤
	16 現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑥
	17 現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑦
	18 現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑧
	19 現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑨
	20 現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑩
	21 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）①
	22 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）②
	23 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）③
	24 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）④
	25 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑤
	26 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑥
	27 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑦
	28 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑧
	29 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑨
	30 現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実V
実務家教員	○
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
単位数	1単位
授業回数	15回
授業概要	一医療人になるために基礎的な患者対応から事務的な仕事までを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	医療事務員として、スムーズに業務を遂行する
教科書	病院実習報告書
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員
授業計画	1 現場実習V（患者対応）①
	2 現場実習V（患者対応）②
	3 現場実習V（患者対応）③
	4 現場実習V（患者対応）④
	5 現場実習V（患者対応）⑤
	6 現場実習V（医事課業務）①
	7 現場実習V（医事課業務）②
	8 現場実習V（医事課業務）③
	9 現場実習V（医事課業務）④
	10 現場実習V（医事課業務）⑤
	11 現場実習V（診療報酬請求、医事コンピュータ）①
	12 現場実習V（診療報酬請求、医事コンピュータ）②
	13 現場実習V（診療報酬請求、医事コンピュータ）③
	14 現場実習V（診療報酬請求、医事コンピュータ）④
	15 現場実習V（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
	16
	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医薬品知識	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	医薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医薬品の種類、保管方法等について理解する	
教科書	調剤指針（薬事日報社）	
特記		
授業計画	1	調剤の概念
	2	調剤の実践
	3	薬物療法と薬物
	4	薬効に影響を及ぼす要因
	5	薬物の投与経路
	6	調剤の実際
	7	処方監査
	8	疑義照会
	9	製剤各論①（経口投与薬）
	10	製剤各論②（外用薬）
	11	製剤各論③（注射薬・点鼻薬・点眼薬）
	12	製剤各論④（麻薬・向精神薬・覚せい剤原料）
	13	薬剤の交付
	14	薬剤服用歴の管理
	15	医薬品の在庫・品質管理
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	調剤報酬請求事務演習	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	処方箋から明細書（レセプト）を作成するための演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	調剤報酬における請求事務を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト基礎問題①
	2	レセプト基礎問題②
	3	レセプト基礎問題③
	4	レセプト基礎問題④
	5	レセプト基礎問題⑤
	6	レセプト基礎問題⑥
	7	レセプト基礎問題⑦
	8	レセプト基礎問題⑧
	9	レセプト基礎問題⑨
	10	レセプト基礎問題⑩
	11	レセプト応用問題①
	12	レセプト応用問題②
	13	レセプト応用問題③
	14	レセプト応用問題④
	15	レセプト応用問題⑤
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	こころとからだのしくみと生活支援
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	1単位
授業回数	15回
授業概要	介護職の理解、高齢者、障害者（児）のこころとからだのしくみについて学ぶ
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	介護職員初任者研修を学習し介護における知識・技術の定着を図る
教科書	初任者研修テキスト（長寿社会開発センター）
特記	
授業計画	1 多様なサービスの理解
	2 介護職の仕事内容や働く現場の理解
	3 介護職の職業倫理/介護職の安全
	4 介護におけるチームのコミュニケーション
	5 介護の基本的な考え方
	6 介護に関するこころ、からだのしくみの基礎的理解
	7 人権と尊厳を支える介護
	8 障害者総合支援制度
	9 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活
	10 家族への支援・生活と家事
	11 快適な居住環境整備と介護・高齢者の健康
	12 高齢者と健康
	13 障害の基礎的理解
	14 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識
	15 死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護
	16
	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ケア計画基礎論	
実務家教員		
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ケア計画の理解、ケアプランをもとに介護報酬のしくみを理解する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	介護報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	初任者研修テキスト（長寿社会開発センター）・配布プリント	
特記		
授業計画	1	介護給付費の請求の仕組み①
	2	介護給付費の請求の仕組み②
	3	介護給付費明細書の記載方法①
	4	介護給付費明細書の記載方法②
	5	介護給付費明細書 共通事項①
	6	介護給付費明細書 共通事項②
	7	介護給付費明細書 様式第二①
	8	介護給付費明細書 様式第二②
	9	介護給付費明細書 様式第三①
	10	介護給付費明細書 様式第三②
	11	介護給付費明細書 様式第二の二①
	12	介護給付費明細書 様式第二の二②
	13	介護給付費明細書 様式第七
	14	介護給付費明細書 様式第八
	15	介護給付費明細書 様式第一
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇実践
実務家教員	
学部・学科	総合ビジネス学科 医療事務コース
履修年次	2年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	接遇におけるマナー、身だしなみ技術を学ぶ
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	マナーや身だしなみについて正しい知識を身に付け、現場で活かせる技術を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ホスピタリティマナー（職場のマナー）
	2 ホスピタリティマナー（身だしなみ・立居振る舞い）
	3 ホスピタリティマナー（挨拶・言葉遣い）
	4 ホスピタリティマナー（来客対応）
	5 ホスピタリティマナー（名刺交換）
	6 ホスピタリティマナー（接遇マナー）
	7 ペン習字・美文字（ひらがな）
	8 ペン習字・美文字（ひらがな）
	9 ペン習字・美文字（カタカナ）
	10 ペン習字・美文字（カタカナ）
	11 ペン習字・美文字（漢字）
	12 ペン習字・美文字（漢字）
	13 ペン習字・美文字（表書き・名入れ）
	14 ペン習字・美文字（礼状）
	15 ヘアアレンジ（髪の毛の洗い方・ケアの方法）
	16 ヘアアレンジ（整え方・ブローの方法）
	17 ヘアアレンジ（アップスタイル）
	18 ヘアアレンジ（ダウンスタイル）
	19 ヘアアレンジ（ポニーテール・ハーフアップ）
	20 ヘアアレンジ（夜会巻き）
	21 メイク（基礎知識）
	22 メイク（メイク用品の知識）
	23 メイク（眉の整え方・産毛の処理）
	24 メイク（ベースメイク）
	25 メイク（ベースメイク）
	26 メイク（アイメイク：アイブロウ）
	27 メイク（アイメイク：アイシャドウ）
	28 メイク（アイメイク：アイライナー・マスカラ）
	29 メイク（場面に応じたメイク方法）
	30 メイク（場面に応じたメイク方法）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする